

新会長所感

古屋圭司 本協会新会長・衆議院議員・日本マレーシア友好議員連盟会長
さらなる日マ友好の促進に向けて
全力で取り組んで参ります

本協会では、二月七日に理事会を開催し、第六代会長に古屋圭司理事（衆議院議員）が就任することが承認されました。平成一五年より会長を務めて頂いた平沼赳夫元経済産業大臣は、名誉会長として引き続き日マ友好にご指導頂くことになりました。また、副会長には有村治子理事（参議院議員）が就任しました。

古屋圭司新会長より、就任にあたっての筆記を頂きましたのでご紹介します。

この度、公益社団法人日本マレーシア協会第六代会長を務めさせて頂くことになりました。衆議院議員の古屋圭司です。平沼赳夫先生の後を引き継ぎ、日本とマレーシアの友好親善の促進に尽力して参りますので、何卒よろしくお願い致します。

昨年、公益社団法人日本マレーシア協会は創立六〇周年を迎えまして、緑綬褒状という大変立派な賞を頂きました。本協会が取り組む活動の柱の一つとして、環境保全への視点から熱帯雨林の再生に取り組んでおります。ボルネオ島のサラワク州にお



ふるや けいじ：昭和 27 年生まれ。昭和 51 年成蹊大学経済学部経済学科卒業。大正（現・三井住友）海上火災保険勤務を経て、平成 2 年衆議院議員に初当選。法務政務次官、経済産業副大臣、国務大臣国家公安委員会委員長・拉致問題担当・国土強靱化担当・内閣府特命担当大臣（防災）、自由民主党選挙対策委員長などを歴任。現在、衆議院議員運営委員長。

いて、既に五〇万本の植林を行い、今後は一〇〇万本を目指して、活動を続けております。この功績が認められ、この度の綬章となりました。大変名誉なことで、関係各位に改めて感謝を申し上げます。

今後は、フタバガキ科在来種だけでなく、マングローブ林の再生も計画しておりますので、ますます意欲的に取り組みを行っていききたいと思います。私は、日本マレーシア友好議員連

盟の会長もさせて頂いておりますが、一昨年の一月に、私が団長となりマレーシアを訪問しジャパン・フェスティバルを開催致しました。その際、日本の強みである MANGA（マンガ）の展示や、国立劇場においてナルトのミュージカル上演などを実施させて頂きました。大勢のマレーシアの皆様にご覧頂くことができ、大変素晴らしい両国の文化交流となりました。このような取り組みを、これからもしっかりと推進していきたいと思っております。昨年は、日本・マレーシア外交関係樹立六〇周年という記念すべき年でした。四月には、皇太子殿下がマレーシアを公式訪問されました。秋には、安倍総理とナジブ首相との首脳会談が実施され、そこでハラル認証を含めた前向きな取り組みについて、両国が協力していくことなどの合意がなされました。その他、マレーシアにおける日本人墓地をしっかりと整備していく取り組みについても推進していこうという検討がなされております。最近の二国間関係における我が国

の取り組みについてですが、マレーシア・シンガポール間の高速度鉄道計画へ、日本が生んだ世界最高の技術である新幹線をマレーシアに導入して頂くための働きかけがございます。いよいよ佳境に入ってきておりますので、ぜひ、マレーシアの方々に新幹線の素晴らしさを十分に認識頂くよう、日本の新幹線を採用して頂くようにご検討頂ければと思います。そのため、私も日程を調整し、本年はぜひマレーシアを訪問し、政府首脳や関係者の方々へ、格段のお力添えを頂けるようにお願いする機会を持ちたいと考えております。日本とマレーシアは、大変友好な関係を維持しておりますので、さらに良い二国間関係としていくために、私も本協会会長並びに議員連盟会長として、全力で取り組んでいくことをお約束申し上げたいと思っております。このことを改めて申し上げます。新会長就任のご挨拶に代えさせていただきます。今後とも、ご指導・鞭撻をよろしくお願い申し上げます。